



令和3年第3回定例会

市議会だより えにわ

議決した議案	……	2～3
請願・陳情・意見書	…	3～4
議案等審議結果	………	4
一般質問	………	5～8
議会からのお知らせ	…	8
代表質疑	………	9～13
議会日誌	………	14



決算審査特別委員会 個別質疑（9月29～30日）



議会改革メンバーと議会モニターとの意見交換会（9月14日）



タブレット操作議員研修会（8月23日）



2020東京オリンピックホストタウン交流会（8月7日）
（グアテマラ共和国競歩選手団）

第3回定例会の会期中に開催した常任委員会分、委員会の会議録をホームページで公開しております。

8ページにQRコードやURLを掲載しておりますので、是非ご覧ください。

令和3年
12月1日 発行
No.114

市議会 facebook
アクセスQRコード



9 月 定例会

令和2年度一般会計・特別会計決算を審査

令和3年 第3回定例会を終える

令和3年恵庭市議会第3回定例会は、9月15日から10月15日までの31日間の会期で開催されました。

今議会では、令和2年度各会計の歳入歳出決算の審査及び本年度補正予算並びに条例改正など、議案20件が提案され、原案通り可決（認定）されました。

一般質問は9月21日、22日、24日の3日間に、10名の議員が質問を行いました。

また、決算審査特別委員会は9月29日・30日に全会計の歳入歳出に係る個別質疑を実施し、10月11日から13日には各会派による代表質疑が行われました。

今議会中に市民の皆様から4件の陳情書が提出され、前定例会で閉会中の審査とされていた1件と併せて審議されましたが、5件が不採択という結果になりました。
意見書は4件が本会議で可決され、衆・参両院議長、内閣総理大臣及び関係各大臣に送付しております。

各会計は、決算審査特別委員会の審査を経て本会議に諮り、前記のとおり認定されました。

補正予算

◆ 一般会計（第5号・第6号）

小規模事業者事業継続支援金支給事業費、新型コロナウイルスワクチン接種事業費など下表のとおり、12億6583万3千円の補正となりました。

（5号賛成多数／6号全会一致）

◆ 国民健康保険特別会計

（第3号）

令和3年2月診療分に係る保険給付費等交付金及び令和2年度特定健診事業に係る保険給付費等交付金の精算に伴う返還金として、1469万6千円を計上したものです。

（以上1件 全会一致）

◆ 介護保険特別会計（第1号）

介護給付費準備基金積立金及び令和2年度国庫支出金等の精算に伴う返還金として、合計2491万1千円を補正したものです。

（以上1件 全会一致）

議決した議案

令和2年度決算

- ◆ 一般会計
- ◆ 国民健康保険特別会計
- ◆ 後期高齢者医療特別会計
- ◆ 介護保険特別会計

- ◆ 土地区画整理事業特別会計
 - ◆ 土地取得事業特別会計
 - ◆ 墓園事業特別会計
 - ◆ 駐車場事業特別会計
 - ◆ 水道事業会計
 - ◆ 下水道事業会計
 - ◆ 産業廃棄物処理事業特別会計
- （以上10件 全会一致）
- （以上1件 賛成多数）

科目(款)	補正額(千円)	内 訳(概要)
総 務 費	602,404	公共施設等管理保全基金積立金、まちづくり推進基金積立金、過年度過誤納還付金
	170,115	学校感染予防対策事業費、学生応援事業費、小規模事業者事業継続支援金支給事業費
	334,808	新型コロナウイルスワクチン接種事業費、感染防止対策協力支援金支給事業費、保育所ICT化推進事業費ほか
民 生 費	44,949	社会福祉事業推進基金積立金、子育て基金積立金
	10,413	子育て支援センター（島松）事業費、学童クラブ運営費
衛 生 費	28,223	スポーツ振興基金積立金、産業廃棄物処理事業特別会計繰出金ほか
農 林 水 産 費	5,739	農業振興基金積立金
土 木 費	32,960	道路橋梁維持補修事業費、柏陽・恵央団地建替事業費ほか
消 防 費	184	常備消防活動費
教 育 費	36,038	恵庭小学校講堂トイレ改修事業費、恵庭中学校校舎防火設備改修事業費ほか
計	1,265,833	

▼産業廃棄物処理事業特別会計
(第1号)

繰入金の財源として予算計上した産業廃棄物処理施設基金の残高不足により、不足分の財源を一般会計繰入金に組み換えるため、2607万円を補正したものです。
(以上1件 賛成多数)

▼下水道事業会計(第2号)

令和4年度から、恵庭下水終末・生ごみ・し尿処理場運転管理委託業務の包括的民間委託への移行に伴い、本年中に入札等を行い運転管理の空白期間が生じないよう新たな受託者の準備期間等を設けるため、債務負担行為として限度額10億8800万円を補正したものです。
(以上1件 全会一致)

表彰

▼恵庭市功労者の表彰について

片石由美子 氏「保健衛生」
伊藤 裕 氏「教育文化」
宮本 春美 氏「教育文化」
(同意 全会一致)

人事

▼恵庭市教育委員会委員の任命の同意について

土谷 秀樹氏(再任)
任期満了に伴い、再任に同意したものです。任期は4年です。
(同意 全会一致)

▼恵庭市固定資産評価審査委員の選任の同意について

金子めぐみ氏(再任)
河口 陽一氏(再任)
羽柴 一将氏(新任)
任期満了に伴い、再任及び新任に同意したものです。任期は3年です。
(同意 全会一致)

条例

▼恵庭市個人情報保護条例の一部改正について

令和3年5月に行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行ったものです。
▼恵庭市国民健康保険条例の一部改正について

健康保険法施行令等の一部改正による産科医療保障制度への掛金の減額に伴い、出産育児一時金を増額し、合計支給額を現行の42万円で維持する改正を行ったものです。
(以上2件 全会一致)

その他の議案

▼財産の取得について

・財産の種類 えにわコミュニティバス2台
・契約金額 4602万3980円
(同意 全会一致)

・契約の相手方 北海道市町村備荒資金組合
・取得目的 えにわコミュニティバスの運行用

▼財産の取得について

・財産の種類 油圧シヨベル1台
・契約金額 2387万円
・契約の相手方 北海道川崎建機株式会社 札幌支店
・取得目的 破砕機への廃棄物の投入による廃棄物の減容化効率の向上

▼財産の取得について

・財産の種類 小学校校務用コンピュータ134台
・契約金額 4878万5千円
・契約の相手方 北海道市町村備荒資金組合
・取得目的 成績処理等で使用する校務用コンピュータの更新

▼財産の取得について

・財産の種類 中学校校務用コンピュータ85台
・契約金額 3065万7千円
・契約の相手方 北海道市町村備荒資金組合
・取得目的 成績処理等で使用する校務用コンピュータの更新

▼防災無線更新工事の請負契約の締結について

・工事内容 防災行政無線更新工事
・契約金額 4億2350万円
・契約の相手方 日本電気・ハイ

・テック特定共同企業体
・取得目的 老朽化及び電波法の関係法令改正に伴う更新

▼恵庭小学校(南校舎)長寿命化改修工事の内建築工事の請負契約の変更について

コロナ禍の影響による工期延長に伴い、仮囲いの期間延長及びクラクク補修等の追加により、契約金額を1億9748万3千円に変更したものです。

▼令和2年度恵庭市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

余剰金の資本金組み入れ及び減債積立金積立ての処分を行ったものです。

▼令和2年度恵庭市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

余剰金の資本金組み入れ及び減債積立金積立ての処分を行ったものです。

▼恵庭市議会特別委員会の設置について

柏陽・恵央地区まちづくり特別委員会を設置したものです。
(以上9件 全会一致)

報告

▼専決処分の報告について

学校給食費支払督促に対する債務者からの異議申立てによる通常訴訟への移行に伴い、学校給食費の請求を求める訴えの提起を専決処分したものです。

▼令和3年度恵庭市健全化判断比率(令和2年度決算)

▼令和3年度恵庭市公営企業等の資金不足比率(令和2年度決算)

▼令和2年度恵庭市下水道事業会計継続費精算報告について

▼専決処分の報告について
歩行者用側溝蓋が割れ、軽自動車を損傷させた事故で、和解及び損害賠償額が決定したものです。
・賠償額 2万3885円

請願・陳情

不採択 5件

▼国民健康保険料(税)のさらなる負担軽減を求める意見書の提出を求める陳情

▼適格請求書等保存方式(インボイス制度)の実施中止を求める意見書(案)の採択を求める陳情

▼地域医療構想を見直し、実情に応じた医療体制の確立を求める意見書の提出を求める陳情

▼保健師等の大幅増員・保健所機能の抜本的強化を求める意見書の提出を求める陳情

▼土地利用規制法を施行することなく、更なる検討を求める意見書の提出を求める陳情
(以上5件 賛成少数)

意見書

可決 4 件

▼コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

▼出産育児一時金の増額を求める意見書

▼選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書

▼国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

(以上4件 全会一致)

所属会派の変更

5月21日開催の第3回臨時会以降3名の議員が所属会派を変更しました。

宮 利徳 議員 (恵義会) ⇒ (清和会)

南出 典彦 議員 (恵義会) ⇒ (清和会)

林 謙治 議員 (歩む会) ⇒ (諸 派)

※南出議員は、恵義会から諸派への変更を経て清和会に加入しました。

9月15日の定例会初日には、所属会派の変更等に伴う議席の変更を行いました。同じく初日には、前任者の辞任に伴い、議員のうちから選任される都市計画審議会委員の推薦について審議され、新たに川原 光男 議員 (恵義会) を推薦することに同意しました。川原議員は、同日付けで都市計画審議会委員に選任されております。

議案等審議結果 (議席の変更に伴い変更後の議席番号、議員名を掲載しています。)

※ この表は賛否が分かれた案件のみ掲載しています。

議決 月 日	会派名 議席番号 議員名 議案名等	議決結果	公明党	恵義会			公明党		諸 派	恵義会		歩む会		民主・ 春風の会		清 和 会								
			1 野 沢 宏 紀	2 小 橋 薫	3 川 股 洋 一	4 松 島 緑	5 生 本 富 士 代	6 岩 井 利 海	7 林 謙 治	8 鷹 羽 茂	9 川 原 光 男	10 新 岡 知 恵	11 柏 野 大 介	12 武 藤 光 一	13 澁 谷 敏 明	14 南 出 典 彦	15 宮 利 徳	16 石 井 美 季	17 長 谷 文 子	18 前 田 孝 雄	19 市 川 愼 二	20 早 坂 貴 敏	21 伊 藤 雅 暢	
9/15	国民健康保険料(税)のさらなる負担軽減を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
9/15	令和3年度恵庭市一般会計補正予算(第5号)	可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/15	令和3年度恵庭市産業廃棄物処理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10/15	適格請求書等保存方式(インボイス制度)の実施中止を求める意見書(案)の採択を求める陳情	不採択	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
10/15	地域医療構想を見直し、実情に応じた医療体制の確立を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
10/15	保健師等の大幅増員・保健所機能の抜本的強化を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
10/15	土地利用規制法を施行することなく、更なる検討を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
10/15	令和2年度産業廃棄物処理事業特別会計決算	認定	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

凡例：議…議長 ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 除…除斥 退…退席

一般質問 代表質疑

(決算審査特別委員会)



議会中継アクセス
QRコード



第3回定例会の一般質問は10名の議員が、また予算審査特別委員会の代表質疑では5名の委員が、市の行財政や事業施策の進捗状況、さらにはまちの将来展望等についてさまざまな視点から質問を行いました。

一般質問は5ページ～8ページに、代表質疑は9ページ～13ページに要約を掲載しています。詳細は市のホームページや図書館でも閲覧いただけます。

【議場音響等システム操作席】



自由民主党清和会
前田 孝雄 議員

町内会活動の促進について

問 近年、町内会の役割が加重になった割には、役員手当をここ数十年上げられない状況にあります。加入率の向上と役員の担い手不足、役員モチベーション向上対策に特化した自治活動交付金の見直し、見える化が必要と思いますが、ご所見を伺います。

答 自治活動交付金は、算定基準は定めていますが、使途は限定していません。地域の実情に応じた弾力的な運用が可能と考えています。役員交代などもあることから、自治活動交付金について、改めて周知したいと考えています。

問 自治活動交付金が創設後19年が経過していますが、多くの町内会長は協働福利事業への運用といふこれまでの規定の範囲で動いているため、この規定に加入率促進、役員活動支援事業の文言を加えることについて、ご所見を伺います。

答 現在は創設当時と異なり、町内会における様々な対応と役割が増えていることから、時代の変化を踏まえ交付金の対象範囲について、他市の状況調査や町内会連合会の意見をいただくなど、検討したいと考えています。

問 協働によるまちづくりに向け一生懸命努力している町内会に対し、インセンティブ予算の取組も今後に向けて重要と思いますが、ご所見を伺います。

答 他市の事例として、地域が実施する加入促進事業などに対するインセンティブ補助の実施を確認しています。これらの町内会活動促進や活性化を図る取組について、調査研究し町内会連合会と共有して参りたいと考えています。



町内会連合会役員会の様子 (10月7日開催)

その他の質問項目
・地域防災力の更なる向上、市民活動センターの情報発信の強化



自由民主党清和会
宮 利徳 議員

保育の質の向上に対する本市の考え方について

問 保育の質の向上に対する本市の考え方について伺います。

答 保育目標や計画の立案、日々の保育の振り返りや自己評価を重ねながら保育に取り組むことが重要と考えています。そのためには人材育成研修や保育内容の評価が重要な要素と考えており、定期的な全園園長会議の開催等を通じて民間の園と連携し、各園の特色や特徴を活かした保育の中から質の向上につなげたいと考えています。

問 保育内容の評価が重要とのことですが、保育内容の評価が現状どのように行われているか伺います。

答 保育士による自己評価、保育所の自己評価、保護者アンケートのフィードバックによる評価のほか、市立保育園は、一般職員同様市の人事評価制度に基づく業績評価、能力評価を行うことにより、指導、助

言、面談等を通して人材育成につなげています。

問 市内には、子育て応援企業の表彰受賞企業等他にも、子ども達の研修、体験等を受け入れても良いという企業等があると思います。保育園単独での把握は困難と思いますので、各企業に意向調査を行い、受け入れ可能な企業等の情報を各園に提供すれば体験学習が更に充実すると思いますが、ご所見を伺います。

答 今後の取組の選択肢を広げるため、子育て応援隊会員を対象としたアンケート等を通じて企業等からどのような協力がいただけるかを把握し、各園の意向も踏まえながら企業等と各園とのつなぎ役として進めたいと考えています。



5歳児交流保育

その他の質問項目
・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について



自由民主党清和会
石井 美季 議員

花のまち恵庭について

問 花の拠点「はなふる」における花がない時季の活用について伺います。

答 ガーデンエリアでは、秋の色彩豊かな紅葉、雪景色に映える樹木の鑑賞など四季に応じた楽しめるガーデンを整備し、センターハウス内では、押し花やブリザーブドフラワー教室の開催など、花の時季とは違う表情を感じていただけるよう来訪者と地域住民との交流機会の充実を図っているところです。

問 冬季における事業を展開するうえで花を日常に感じ親しんでいただくための工夫が必要とのことですが、日常の暮らしと花との繋がりについて具体的な取組などがあれば伺います。

答 花とくらし展など、多くの市民に花に触れる機会を提供し、その触れ合いを家庭の庭で実践していただくことで家族や近所の方々との深い関わりや新しい出

会い等に繋がるものと考えており、これらをはなふるから発信することに大きな意味があると考えます。今後も様々なイベントなどに取り組んで参ります。

問 日常的に花を感じられる取組として、毎月のイチオシな花を紹介し、この推し花に関する飲食や音楽と花を結びつけた事業の展開、花イベントの後には花の日を制定するなど、考えられることは多くあると思いますが、ご所見を伺います。

答 現在、はなふるでは月1回の開催を目的に「はなふるでいず」というイベントを開催しており、花苗の植栽、花を使った装飾品作り等を企画しています。今後も、このようなイベントを更に充実させるよう取り組んで参ります。



えにわシーニックナイト2021

その他の質問項目
・妊娠出産子育ての切れ目ないサポートについて



自由民主党清和会
早坂 貴敏 議員

全国都市緑化北海道フェアについて

問 全国都市緑化北海道フェア開催期間中にまん延防止措置や緊急事態宣言下になった場合、どのような工夫をしてイベントを構築していく考えか伺います。

答 まん延防止等重点措置の場合、感染対策を講じ市民限定の少人数による実施は可能と考えますが、まん延防止等重点措置、緊急事態措置のいずれの場合もオンラインを活用した開催は有効と考えます。

問 経済活性化への寄与は重要ですが、イベントを通し将来的なPRにつながることも重要です。例えば、ユーチューブで恵庭の観光スポットの発信、花のまちの歴史や魅力を伝えることも重要と思いますが、ご所見を伺います。

答 オンラインによる手法は、現在有力な情報発信手段として確立されており、ご提案のようにユーチューブ等を活用して情報を発信

することは、北海道や恵庭市を全国にPRする上でも大変有効な手段と認識しています。

問 感染状況によりイベント規模や内容を急遽変更する場合やその判断が遅れた場合、当然参画や協力していただいている市民に影響がおよび、結果的に振り回すことになってはならないと思いますが、誰がどのようにに開催の有無や規模を判断されるのか伺います。

答 開催自治体として北海道、恵庭市が主体となり、都市緑化機構とともに判断して参りますが、イベントの提唱者である国土交通省にも相談しながら、参画される方々のご理解が得られるよう、時期を捉え実行委員会として判断して参ります。



全国都市緑化北海道フェア会場となる「はなふる」

その他の質問項目
・産業廃棄物処理の現状と今後について



自民党恵義会
小橋 薫 議員

市営住宅柏陽・恵央団地建替基本計画について

問 アンケートにおける民間賃貸住宅への転居意向の調査方法や具体的記載方法また、そのような方法とした要因、根拠を伺います。

答 これまで入居者に民間賃貸住宅への移転説明を行っているにもかかわらず、高齢者も多くアンケート方式では回答が困難と考え、市担当者が内容説明の上、聞き取りを行っています。内容は、民間賃貸住宅希望の有無確認と希望者には立地場所、間取り、階数、移転時期、家賃などの聞き取りです。

問 民間借り上げ住宅に関しては、意向調査後業者と協議することですが、入居者が求める条件等を設定し早期に協議しないと更に事業が遅れると思います。入居者の方々が移転する場合に一番優先する項目を改めて伺います。

答 基本計画作成時に行った入居者アンケートでは、家

賃、移転先、部屋の広さ、間取りの順となっております。

問 柏陽町内会では、防犯対策や高齢化防止による町内会の若返りなどを求めている、入居者は早期移転を期待しています。PPPによる民活導入を含め、事業の見直しによる現状業務の効率化を念頭に、より積極的に事業に取り組むことを希望しますが、ご所見を伺います。

答 入居者の移転先確保に向け、民間賃貸住宅やセーフティネット住宅の活用も検討したいと考えています。また、柏陽団地の空家増により、防犯や環境等への影響も懸念され、建物の老朽化も進んでいますので、移転先の早期確保のため、今年度中に事業の方針を決定し、事業を進めたいと考えています。



市営住宅柏陽団地

その他の質問項目
・新型コロナウイルスについて



公明党議員団
松島 緑 議員

恵庭市環境基本計画について

問 千歳では、卒業や成長で着れなくなった中学・高校の制服を市内限定で必要な方に無償で提供する事業を行っています。SDGsの取組の一つとして子どもたちは身近に感じると思いますが、このような取組についてどのように考えているか伺います。

答 学生服のリユースは、ご近所同士のやり取りやPTA等が実施するバザー等で一定のニーズがあると考えています。また、循環型社会の形成に係る環境教育的側面もあると捉えています。かといった検討が必要と考えているところです。

問 千歳市では、環境基本計画にSDGsが盛り込まれており、日々何をすればSDGsに参加できるかなどが分かりやすく記載されています。本市におけるSDGsの市民理解を得るための考えを伺います。



SDGsポスター

答 次期計画では、各環境施策とSDGsの目標の関係性を分かりやすく紐づけし、あらゆる人が参画する具体的な取組が示せるようにしたいと考えています。

問 市としてSDGsを積極的に取り組み、持続可能なまちづくりを行うことで市民にとって満足度の高いまちになると思います。また、市民・事業者がより環境問題に対する意識を高め、多くの市民が参加者となり、市全体で取り組むことが重要だと思います。この取組によりどのような効果があったか分かりやすく公表していくことも大事だと思いますが、ご所見を伺います。

答 現在、次期計画における取組に対する指標を検討しております。次期計画では、より分かりやすく伝えるとともに、行動しやすいものにするよう工夫して参りたいと考えています。



民主・春風の会
澁谷 敏 議員

業務効率向上の取組について

問 職員の業務効率を低下させないための執務環境対策と今後の取組について伺います。

答 夏場はクールビズの期間を拡大し、冬場は暖房の設定温度とウォームビズを徹底しています。今後の取組として、執務環境の向上に向け、個々の対策の徹底や、既存設備の運用の見直しなどを進めたいと考えています。

問 庁舎内の温熱環境を適切に管理することが、職員はもとより、来庁者のためにもつながると考えますが、ご所見を伺います。

答 庁舎には、高齢者や妊産婦、小さなお子様を含め、連日様々な市民が訪れています。このため、市としては職員のみならず来庁する市民のためにも、庁舎内の適正な室温管理というのは大変重要であると考えているところです。

問 適正な室温管理により執務環境を整え、業務効率向上すれば、職員の時間外勤務低減につながると思います。職員の時間外勤務が減れば、税などを原資とする時間外勤務手当の縮減につながると思いますが、ご所見を伺います。

答 庁舎内の適正な温度管理により執務環境が整うということは、職員の業務効率や生産性が向上する一つの要因であることから、時間外勤務低減の一助になると考えています。市としては、来庁者や職員の体調管理、さらには職員の業務効率向上のため、コストや温室効果ガスの排出量も配慮しながら、より良い執務環境となるよう、対策の検討を進めて参りたいと考えています。



クールビズを周知するポスター

その他の質問項目
・投票率向上に向けた施策、保健師の重要性、はなふるの活用状況、農業振興



市民と歩む会
柏野 大介 議員

高校生通学費補助制度の創設について

問 恵庭市総合戦略で掲げる、妊娠・出産から就労への切れ目ない支援の実現のためにも、高校生の学びを経済的に支える仕組みが必要と思いますが、通学費補助制度の創設に向けた考えを伺います。

答 通学費補助制度の創設は現在考えておりませんが、制度を導入する自治体に聞き取りを行うなど調査して参ります。

問 交通費の負担は大きいという意見をいただいております。本市が実施する高等学校等入学準備金事業による負担軽減は評価できますが、給付額が1万5千円では不十分と思います。他自治体での取り組みの現状について伺います。

答 札幌市は、石狩管内の高校等へ公共交通機関での通学を条件に、月の定期代が1万3千円を超える場合超過額の2分の1助成、北広島市は、月の定期代が

1万2千円を超える場合超過額の4分の1助成で上限を月1万円としています。

問 国や道の就学支援金による実質無償化や通学区域の1学区化で選択肢は増えているように見える一方、今後更に公立高校の間口が減った場合、地元を選択できなくなる可能性が否定できません。将来を見据えて通学費の補助が必要と思いますが、ご所見を伺います。

答 高校生の補助は義務教育とは異なり、自治体により事情が異なるため、一概には申し上げられませんが、様々な支援制度を活用し、恵庭で学び育った中学生が自分の将来を考えた上で進路を選択し、夢や目標の実現に向けて卒業後の道を歩んで欲しいと願っているところです。



通学風景 (イメージ)

その他の質問項目
・市営住宅の優先入居について



市民と歩む会
新岡 知 恵 議員

医療的ケア児の災害時
支援について

問 医療的ケア児の災害時における避難行動支援体制は、避難行動要支援者名簿に登録していただいたうえで、市と町内会や関係機関等と連携して避難行動の支援を行うとのことですが、町内会で対応できない場合に、市としてどのように支援する考えか伺います。

答 医療的ケア児を対象とした支援内容について、あらかじめ定めてはいませんが、庁内の、例えば子ども未来部や保健福祉部などで、必要な支援が必要な状況に応じて行っていききたいと考えています。

問 医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場として「いーえむネット」があります。支援当事者は、医療的ケア児のほか、重度的障がいと肢体不自由を重複した状態の重症心身障がい児及び18歳までにその状態となった方とのことですが、この「いーえむネット」

ト」を避難行動においてどういう支援が可能かという議論の場とし、当事者名簿の管理・更新も行っていくべきと思いますが、ご所見を伺います。

答 事務局で整理したうえで協議会「いーえむネット」の中で情報共有を行っていききたいと考えています。

問 当事者名簿が基礎データとして避難時の行動支援につながると思います。これに基づき、基地・防災課とは個別の行動計画を作成すべきと考えますが、ご所見を伺います。

答 個別計画まで至っていませんが、関係機関を含め個別の避難行動計画を策定することは有意義と考えています。直接関係団体の方々と意見交換や情報共有を進めながら、どのような対応が良いか検討して参りたいと考えています。



肢体不自由児親の会と文教大学生との交流会



派 諸
岩 井 利 海 議員

産婦人科の必要性について

問 近隣に「産科医院開設誘致制度」の案内を行っている自治体がありますが、その動向と本市の考えを伺います。

答 制度を有する自治体を調査した結果、大学病院へ誘致活動を行ったが医師の成り手がいないため協力できないなどの回答を受けるなど、産科医院開設には至っていないとのこと。今後も対応状況など、引き続き情報収集に努めて参ります。

問 出生数の減など産婦人科を取り巻く環境が厳しさを増し、産婦人科の開設は厳しい中でも、本市に産婦人科の誘致は必要と思いますが、ご所見を伺います。

答 少子化が進む中、安心して子どもを産み育てられるよう産科医療体制の確保は、本市にとって重要な課題であると認識しています。道では、北海道医療計画に基づき住民・患者の視

点に立ち良質かつ適切な医療を効率的かつ継続的に提供する体制の確立を基本理念としており、本市としても、道の計画推進に注視したいと考えています。

問 産婦人科の誘致に一番必要なものは、赤ちゃんを恵庭市内で取り上げ、育てるといふ希望、やさしさ、心意気だと思いますが、ご所見を伺います。

答 北海道医療計画では、第2次医療圏を医療提供体制確保の基本的単位として、必要に応じて第2次医療圏を超えた広域的連携に向け協議を進めることとしており、本市としても、北海道医療計画や北海道医師確保計画などの進捗状況を見ながら、本市における産科医療体制の可能性について、積極的に調査して参ります。



産婦人科医院 (イメージ)

その他の質問項目
・緑化フェアの在り方、教科用図書採択

議会からのお知らせ

常任委員会の会議録を市ホームページで公開しています。

下記QRコード又はURLからご覧ください。

会議録アクセスQRコード



9月15日の本会議終了後、厚生消防常任委員会及び基地特別委員会が開催され、両委員会の副委員長辞任の承認により、下記のとおり新たに副委員長が選出されました。

厚生消防常任委員会 小橋 薫 議員 (恵義会)
基地特別委員会 生本富士代 議員 (公明党)

常任委員会会議録のURLは次のとおりです。

https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/gikai/gikaijimukyoku/shigikai/kaiginokekka/13_1/index.html



公明党議員団
生本 富士代 委員

新型コロナウイルス感染症対策事業について

問 令和2年度の商品券事業は配布型で、非常に効果があったとのことですが、本年度は購入型となり、1回目購入の際の希望者が2回目の購入が可能な仕組みとなったことで、購入の幅の広がりがなく感じますが、前年度の実績から見て、この事業は市民が求めている状況にあると認識しているのか伺います。

答 本年度の商品券事業は、昨年度実施した配布型商品券事業と異なり、購入型事業ということで、目的は消費喚起と市内経済の好循環を第一に実施しています。また、プレミアム率も前回とは異なり、25%から50%という割合に設定しています。現在、2次販売、3次販売の受付を開始しているところですので、市内経済の回復と好循環を図るため、商品券の完売を今後も目指して参りたいと考えています。



今年度事業を実施している商品券

問 市民が求めているのは、配布型の商品券事業、又はプレミアム率の大きい商品券事業だと思えますが、今後、社会情勢が今と同じような状況になったときに、市民生活や市内経済の活性化のためにも配布型の商品券事業、又はプレミアム率の大きいものが必要と思われませんが、ご所見を伺います。

答 今、国において新たな補正予算を組んで現金給付をするか、あるいは学生や低所得者の方々に給付するかという議論がこれから始まるうとしているところであり、国の動向を見極める必要があること、更に、現状の中で市民の状況、あるいは地域経済の状況をしっかりと検証した上で、新たな施策を組み合わせなければならぬと思っております。これから進めようと考えています。

市営住宅維持管理事業の成果と課題及び今後の展開について

問 空き部屋の修繕計画は現在策定していないため、来年度の長寿命化計画の見直し時に盛り込むことですが、空き部屋の修繕に特化した修繕計画書をつくるべきと思いますが、ご所見を伺います。

答 長寿命化計画の中で年次計画やスケジュールを細かく記載した修繕計画を考えていますので、長寿命化計画の中で詳しく修繕計画を盛り込むような形で考えています。

問 市営住宅における様々な問題については、これまでも議会の中で何度も取り上げられてきたところですが、これらの件に関し改善策等を検討してこなかったのか伺います。

答 これまで少ない予算の中にあっても、極力新規募集を出すよう努めており、修繕費がかからない、あるいは少額で修繕可能な部屋を優先して新規募集するよう取り組んでいます。

問 基金の中に公共施設等管理保全基金やまちづくり推進基金がありますが、これらの基金を修繕費の財源に活用することができないか伺います。

答 公共施設等管理保全基金及びまちづくり推進基金は、2つの基金とも特定目的基金となっており、取り崩すことができない事由が限られています。まちづくり推進基金は、水と緑と花のまちづくり推進事業、その他市のまちづくり推進事業に要する経費に充てるときに取り崩すことができません。公共施設等管理保全基金は、公共施設等総合管理計画に基づき行う施設の除却、あるいは機能保全対策に要する経費に充てることができます。また、修繕に用いることができるケースが使用料の一部を毎年基金に積み立てしている施設に限定されていることから、市営住宅の修繕には活用することができないものです。なお、市営住宅は、事業に要する経費を使用料収入、あるいは国庫支出金などで賄うことが基本となっておりますが、政策的な事業の推進の中で、多額の財源が必要な場合は、充当可能な基金を活用することも考えられるところです。

その他の質問項目

・令和2年度予算の総括、決算状況及び今後の財政見通し、新型コロナウイルス感染症対策事業、読書の推進、GIGAスクール取組



民主・春風の会
委員
光 藤 武

保育士人材確保対策事業の成果と今後の考え方について

問 保育士人材確保対策事業の成果と今後の考え方について伺います。

答 「就労支援金助成事業」は、令和2年4月以降、市内保育園・認定こども園に採用された保育士等に対し、新規就労時に基本額3万円、市外からの転入の場合に加算額5万円を「就労支援金」として交付しています。今後は、事業の評価と検証を進めるとともに、他事業の検討を進めるなど、保育士確保のための環境整備に努めて参ります。

問 あらためて保育士確保対策の考え方について伺います。

答 給与等の経済面はもとより、休暇取得や時間外勤務等の就労環境、職場内における助言や指導による人材育成など、多角的な取組が必要であり、各園における保育内容の充実や人材育



すみれ保育園

成、職場環境の改善等での取組が重要になると考えています。

問 保育士確保施策の現状と今後の展開について伺います。

答 国の施設型給付費等の処遇改善等加算の適用による保育士賃金の底上げ、ICT環境の導入、保育士等人材確保を目的とした保育士等復職支援セミナー、保育士等人材バンクシステム、合同職場説明会、人材育成及び質の向上を目的とした保育士等研修会の開催などに取り組んでいます。今後は、就労支援金助成事業の継続、国の補助制度を活用した住環境の支援や職場環境改善に向けて検討を進めるとともに、各園の特色を活かした取組や先駆的な取組などの現状や課題の共有、研修会の開催など、離職防止や定着に取り組んで参りたいと考えています。

市内高等教育機関就学生支援助成金の成果と今後の考え方について

問 市内高等教育機関就学生支援制度助成金事業の成果と今後の考え方について伺います。

答 本事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下において、市内に立地する高等教育機関に在籍し、市内でアパート等において単身生活等をする学生に対する経済的支援を目的とし、1か月の助成上限を2万円とし、家賃の2分の1を最大3か月分助成する事業で、1,003人の学生に対し5,731万円を助成しました。本事業の実施により、学生への「恵庭での学びの継続」の一助になったものと考えています。現時点では、本事業を継続して実施する考えにはありませんが、引き続き、コロナ禍において生活困窮にある若者・学生等への支援について検討して参ります。

の報告を受けており、本事業の実施が学びの継続の一助になったものと考えています。

問 現時点では、本事業を継続する予定はないとのことですが、本事業以外で高等教育機関の学生に対する支援について、考えがあれば伺います。

答 コロナ禍により生活困窮にある学生等への支援として、恵庭若者応援プロジェクト実行委員会が行うフードパントリーに対し、配布物資の確保に向けて協力企業等との橋渡しし、配布物資の安定確保に向けた不足物資の提供支援を実施して参ります。また、市内の高等教育機関に通う学生を対象とした生活実態等に対するアンケート調査を実施し、状況を把握した上で、引き続き必要な支援策を検討して参りたいと考えています。

その他の質問項目

- ・小学校デジタル指導用教科書整備事業、産婦健康診査事業、産後ケア事業、多文化共生推進事業、島松駅バリアフリー化事業、農業用廃プラスチックリサイクル助成事業、札幌圏消防通信指令業務共同運用事業ほか、財政運営の基本指針

答 学びの継続については、各学校に聞き取りを行ったところ、令和2年度に経済的な理由で退学した学生はいなかったと

産業廃棄物特別会計について



市民と歩む会
新岡知恵
委員



部活動指導員による部活動の様子

問 来年度から産廃特会が一般会計と一緒になることですが、本来事業者が全額負担すべき処理手数料の赤字分を、事実上市民の税金で補填しても、実態把握は困難になると思いますが、少なくとも、今年度補正予算で発生した繰入れの処理方法が令和4年度中の見直しの中で方針が決まってからでなければ、産廃特会と一般会計を一緒にすべきでないと思いますが、ご所見を伺います。

答 一般会計での処理により、産廃会計に収入があるということ、市民負担が逆に減っている部分もありますので、その部分について令和4年度中に検討し、市民に対して説明を行っていただきたいと考えています。

産廃は特会で会計処理するルールを守ってきており、そのルールが変わるときは市民に丁寧な説明を行い、市民に納得していただいた上で一般会計と産廃特会を一緒にする場合は、一般会計と統合したときの産廃の基本ルールをつくり、公金の負担実態を市民に示す仕組みが必要と思いますが、ご所見を伺います。

答 過去にも一般会計からの繰入れは行ってきており、例えば第3期最終処分場では、産廃専用の処分場でしたが、経費の負担増など収支不足が見込まれる場合は、一般会計から繰入れするルールをもって対応してきた経緯がありますので、一般会計から赤字を補填することが、ルール上行ってはいけないことではないと認識しています。市民への説明は、丁寧に行って参りたいと考えています。

新しい教育環境の整備について

問 コロナ禍で学校現場の負担は増加する一方、子どもたちには学びの遅れを取り戻すため、よりきめ細やかな教育が必要で、子どもたちに確かな学びの機会を保障しつつ、教員への過剰な負担を軽減するには、外部資源の活用が重要と考えますが、市の取組を伺います。

答 部活動指導員、学習支援員、特別支援学級補助員や特別支援教育学校補助員の配置などにより、教員の指導体制を支援しており、小学校では「北海道ハイテクACアカデミー」の指導者による体育授業の支援も行っています。更には、令和2年度から、児童生徒の学びの保障と教員の業務サポートのため、北海道教育委員会が任用する学習指導員やスクール・サポート・スタッフを希望する小中学校に配置しています。

問 部活動指導員に関する今後の取組について伺います。

答 顧問が部活動の指導時間を授業準備に充てることができ、部活動指導員の配置は教職員の負担軽減に非常に効果的と捉えています。今後は、各中学校のニーズの変化への対応、指導内容や指導時間の更なる充実が課

題と考えており、引き続き効果を検証しながら配置する中学校数や人数、指導時間の拡大などを検討したいと考えています。

問 子どもへのきめ細やかな指導のため、支援員、補助員、専科教員の増員を求めてきましたが、予算の都合で前に進まない現状です。予算の制約がある中で、指導体制強化のため工夫している取組があれば伺います。

答 近年、通常学級においても特別な教育的支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあり、ニーズの多様化により教職員の負担も増していると考えています。その負担軽減策であり、特別指導支援学校補助員の勤務時間数について、特別支援学級補助員の勤務状況なども参考に様々な工夫をしながら、全体的な必要時間数を確保できるように検討したいと考えています。

その他の質問項目

・財政運営、行政改革の推進、花の拠点事業、会計年度任用職員制度、開かれた行政運営の推進、新型コロナウイルス対策、健康づくりの環境整備、学童クラブの環境整備、障がい児支援



自由民主党清和会
長谷文子 委員

「花の拠点」整備事業について

問 「はなふる」の令和2年度の運営状況と今後の見通しを伺います。

答 「道と川の駅」や「かのな」は売上額が前年を上回りましたが、昨年11月から供用を開始した「ガーデンエリア」や「こどもの遊び場」などを含む「はなふる」全体の収入は、新型コロナウイルスの影響もあり予算額を下回る状況となっております。今後の見通しは、今年度から「はなふる」の通年運用が始まったことから、現有施設で得られる収入の状況把握や維持管理など支出額の適正化について十分な検証を行う必要がありますが、新たな収益施設の誘致や収益性の高いイベントの継続の実施など、集客や賑わいの創出に繋がる誘客促進事業に取り組んで参ります。

問 花を愛でる人は、ガーデンを汚してはいけないということで、登山をす



はなふる

る人は入山寄附のようなものがあると思いますが、ガーデンに入るときに任意で環境税のような形で思わずお金を入れたくなるような箱を設置するのはどうかと考えましたが、ご所見を伺います。

答 「はなふる」は、市民の憩いの場となる広場に加え、オープンガーデンを思わせる暮らしの庭、テーマ性のある庭などを配置することで恵庭のまちを体験し滞留していただくことにより市内観光資源、観光施設への周遊を促す観光交流の拠点という位置付けです。「はなふる」を応援していただく方々からのご厚意については、管理費などの一部に充当させていただくことで活用できるものと考えますので、持続可能な施設運営を可能とする手法のひとつとして、前向きに検討したいと考えています。

農業施策について

問 グリーンツーリズム整備計画は、北海道との協議を経て今年度末の見直し計画策定を目指すとのことですが、グリーンツーリズム推進上の課題と、計画の見直し内容を伺います。

答 現在の計画は、農産物直売所などの施設整備可能な区域が限定されており、区域外の農業者は施設整備ができません。

このため、今後のグリーンツーリズム促進のためにアンケート調査を実施した結果、グリーンツーリズムに関心を示す農業者も一定程度いることから、希望者が参入しやすい環境を整えるため、整備計画区域を農振地域全体に拡大し、グリーンツーリズムの推進を図って参ります。

問 グリーンツーリズムに参加する場合は、法律等様々な問題があると思いますが、クリアしなければならぬ課題について伺います。

答 農地に施設を整備するには、農地法による農地転用の許可、都市計画法による開発行為の許可を必要とし、建築物は建築基準法に適合した施設という条件があり、食品や加工品等を扱う場合は、食品衛生法による

飲食店営業許可、旅館業法に基づく営業許可などが必要です。

問 学校給食での恵庭産食材の使用率が低いのは、価格面が要因のひとつのことですが、恵庭産食材を給食に使用することは、様々な相乗効果があると思えます。今後JA道央さん等と給食に恵庭産食材を使うことを前提にご協議いただきたいと思いますが、ご所見を伺います。

答 学校給食に地元産食材を使用し、食に関する指導の生きた教材として活用することは、生産者の努力や食に関する感謝の念を育む上で重要なほか、地産地消の重要な手段のため、地元産の使用率を上げたいと考えていますので、平成28年度まで実施していたJA道央との年間契約について、再度教育委員会、経済部、JA道央と検討して参りたいと考えています。

その他の質問項目

・令和2年度一般会計決算、令和2年度国民健康保険特別会計決算、市民が主役のまちづくり、JR島松駅バリアフリー化と島松駅周辺整備事業、市内公共施設のLED化、労働力の確保策、新型コロナウイルス感染症対策

保健福祉行政について



自民党恵義会
川 股 洋 一
委員



市民スキー場

問 スキー場の駐車場整備についての考え方を伺います。

答 市民スキー場の駐車場は、山の隣接地に約3,000㎡の面積を確保し、スキー場利用者が来場した際に利用していただけるよう、厳冬期には除雪により駐車スペースの確保を行っています。一方で春の融雪期には、駐車場全体がぬかるみ、車移動の際にスタック等が発生することが課題であり、改善策を研究しているところであります。

問 市民スキー場の駐車場整備における改善策を研究しているとのことですが、どのような改善策を検討しているか、また検討している中において安価なもので対応できないか伺います。

答 改善策としては、暗渠排水整備による方法がありますが、整備には多額

の費用を要することから、その他の方法について、現在関係部署と費用も含めて検討を行っているところであります。

問 冬場のスキー場駐車場内でのスタック等の発生など、市民の方が不便に感じている状況下において、現場をしっかりと確認しているのか、伺います。

答 2月中頃から下旬頃より、降雨の影響及び気温上昇による雪解けが始まり、駐車場路面のシャーベット化による駐車場内でのスタック発生など、利用者に影響を与えていることについて把握しております。これまでの対応としては、ぬかるみや路面状況の悪い箇所へのコーンの設置やロープによる通行誘導を行うなどの対応を行っているところであります。

(注) 雪やぬかるみなどにはまって、自動車立ち往生すること

生活環境行政について

問 令和3年度は、産業廃棄物特別会計において産業廃棄物処理施設基金の繰入れだけでは維持できず一般会計から繰入れしました。令和4年度以降も一般会計からの繰入れは避けられないとのことですが、一般会計の繰入れと産業廃棄物特別会計の関係をどのように理解したらよいか伺います。

答 本市のごみ処理施設は一般廃棄物処理施設として整備、管理、運営しており、その中で産廃は、一般廃棄物の処理に支障のない範囲で任意に行う、いわゆるあわせ産廃として受け入れられています。これまで一般廃棄物処理施設の経費を想定ごみ量で按分して産廃特会が負担することにより一般会計の歳出を抑制してきましたが、ごみ量が減少し、按分による負担割合が維持できなくなった場合は、その経費は一般廃棄物処理施設の経費として一般会計が負担するものと考えています。

問 今後も産廃の受入れを継続するならば、排出事業者に応分の負担を求めるべきであり、そのためには一廃、産廃の会計は分けた方が容易に検証できると思えます。次年度より特別会計を

廃止し、一般会計に一本化するとのことですが、一般会計に一本化した場合、事業者の応分の負担、すなわち産業廃棄物処分手数料の適正をどのように確保していくのか伺います。

答 現在のごみ処理手数料の算定は焼却施設稼働前だったため、想定に寄らざるを得なかったごみ量や経費の部分が、次の検証時には実績に基づき検討できますので、令和4年度に検証し算定する手数料は、より適正な実態に近いものになると考えられます。算定した手数料に基づき歳入やごみ処理量とごみ処理手数料の関係等は、産廃だけではなく一廃も含め、決算ベース実績ベースで確認、検証することができまので、全てのごみ処理会計が一般会計になっても、適正さを欠くことはないと考えています。

その他の質問項目

・地域防災計画、財政運営、公共施設等管理計画、島松駅前広場基本計画、協働によるまちづくり、第2期総合戦略、子育て・教育行政、経済政策、農業政策、第2次救急医療臨時助成金事業

7月 (前回掲載分を除く)

- 21 ● 議会災害等対策会議要望書提出
 - ▶ コロナ禍において困窮している若者・学生を中心とした支援として「えにわ商品券えにわんチケットプレミアム」の活用に係る要望書を市長に提出しました。

8月

- 3 ● 経済建設常任委員会
- 4 ● 総務文教常任委員会
- 5 ● 議会改革推進協議会
- 6 ● 厚生消防常任委員会
- 11 ● ※ ICT 専門部会
- 19 ● 石狩東部広域水道企業団議会定例会
- 20 ● ※ 議会基本条例素案作成部会
- 23 ● タブレット操作議員研修会
 - コロナ禍における経済支援に対する緊急要望を提出
 - ▶ コロナ禍において、これまで何らかの理由により支援が受けられず真に困窮している飲食業及び関連業種に対する経済支援を求める要望を市長に提出しました。
- 25 ● 広島県庄原市議会行政視察 (WEB対応)
- 26 ● ※ 議会基本条例素案作成部会
- 27 ● ※ 議会沿革・図書室活性化専門部会
 - 議会災害等対策会議要望書及び経済支援に対する緊急要望の回答を市長より受理
- 31 ● 会派交渉会

9月

- 3 ● 議会改革推進協議会
- 7 ● ※ 議会基本条例素案作成部会

- 9 ● 会派交渉会
- 13 ● 会派交渉会
- 14 ● 議会運営委員会、議会改革メンバーと議会モニターとの意見交換会
- 15 ● 第3回定例会初日、厚生消防常任委員会、基地特別委員会、柏陽・恵央地区まちづくり特別委員会、決算審査特別委員会
- 21、22、24 ● 一般質問
- 24 ● 議会運営委員会 (意見案調整等)
- 29～30 ● 決算審査特別委員会 (個別質疑)
- 29 ● 常任委員長会議

10月

- 5 ● 総務文教常任委員会
- 6 ● 厚生消防常任委員会
- 7 ● 経済建設常任委員会
- 8 ● 基地特別委員会、柏陽・恵央地区まちづくり特別委員会
- 11～13 ● 決算審査特別委員会 (代表質疑)
- 12 ● 会派交渉会
- 14 ● 議会運営委員会
- 15 ● 第3回定例会最終日 (審査報告・議案審議)
 - 灯油高騰対策及び経済支援への要望を提出
 - ▶ 厳冬期を迎えるにあたり、灯油価格高騰に伴う経済支援策を求める要望書を市長に提出しました。
- 25 ● 全国市議会議長会基地協議会北海道部会定期総会 (名寄市)
- 27 ● ※ 議会沿革・図書室活性化専門部会
- 29 ● ※ 議会基本条例素案作成部会

※は議会改革推進協議会の専門部会
 ◎上記のほか、毎週木曜日に議会災害対策等会議を開催しております。

令和3年第4回定例会日程

月 日	主な議会日程	場 所
11月26日(金)	定例会招集日(初日)	本会議場
12月 1日(水)～ 12月 6日(月)	一般質問	本会議場
12月 7日(火)	総務文教常任委員会	委員会室
12月 8日(水)	厚生消防常任委員会	委員会室
12月 9日(木)	経済建設常任委員会	委員会室
12月10日(金)	特別委員会	委員会室
12月14日(火)	定例会最終日(議案審議)	本会議場

上記の日程は11月1日現在の予定です。一部変更になることがありますので議会事務局 (Tel 33-3131内線 3211・3212) までご確認ください。

【柏陽・恵央地区まちづくり特別委員会】

令和3年9月15日設置

■柏陽・恵央地区の市営住宅団地建替事業の方向性や事業手法、事業スケジュール等に基づき、地区全体のまちづくりを審査する特別委員会です。

委員長 市川 慎二 (清)	副委員長 小橋 薫 (恵)	
前田 孝雄 (清)	松島 緑 (公)	武藤 光一 (民)
柏野 大介 (歩)	岩井 利海 (諸)	

※自由民主党議員団清和会 (清)、自民党恵義会 (恵)、公明党議員団 (公)、民主・春風の会 (民)、市民と歩む無党派ネットワーク (歩)、諸派 (諸)



編集後記

第3回定例会が終了致しました。今回の定例会では、令和2年度の恵庭市の各会計の決算を審査する、「決算審査特別委員会」が設置されました。

令和2年度におけるコロナ対策事業や、他の施策等にどれだけ市のお金が使われたのか、という事について議論が交わされました。委員会での様々な視点による議論が、来年度の予算編成に、少しでも反映されればと思います。

その様な中、改めて思うのは、新型コロナウイルス感染症が、長きに亘り私たちの生活に、ここまで大きく影響を及ぼすとは、思ってもみなかったということ。一日でも早く終息し、安心して暮らせる日常生活になることを願うばかりです。

又、今回の定例会では、「柏陽・恵央地区まちづくり特別委員会」が設置されました。今後、様々な議論されていきます。

今年度、議会改革の一環として「議会モニター制度」(試行)を導入しました。議会に対する様々なご意見をしっかりと受け止め、議員としての自覚を、更に深めていかなくはと決意しております。

市議会だより編集委員会
 (生本 富士代)